

# 福井県退教通信

編集・発行所  
福井県退職教職員会  
郵便番号 910-8544  
福井市大手2-22-28  
福井県教育センター内  
電話 (0776)23-9191  
第49号

## 会長提言

### 「第二の人生」をよりおもしろく ——同窓生の知恵に学ぶ——



会長 奥本 明義

大学学部同期生の古希記念の同窓会を開催。出欠の如何に関わらず、100名余の近況報告等集約、印刷して回答者に配布しました。

皆、それぞれに『第二の人生』を存分に満喫しているようで、懐かしさと共に、大いに学ぶものがありました。これらメッセージや当夜のスピーチを通して得た退職後の生活を『よりおもしろく、有意義に過ごす』ための刺激とヒントを紹介し、参考にしていただければと思います。

#### 仕事抜きの「人間関係」がカギ

「リタイア後の生活が、おもしろいかつまらないか、充実しているか虚しいか、そのカギは友人の存在だ」という。地位や肩書きをはずした状況で、肩肘張らずに話ができ、うまい酒の飲めることが、心を潤し、豊かな生活につながるようです。

#### 「シニアの特権」を見逃すな

旅行好きの彼は、「鉄道や航空の運賃、宿泊代や各種施設入場料等に、シニアの特権を活かせば2、3割は安くする」という。

#### 「ひとり遊び」で生活を活性化

ITシステムを活用し、好みに合わせて自ら立案、予約早割やシニア割引制度、クレジット利用のポイント等々、特権を最大限に活かせば、豊かで賢い旅を楽しめるそうです。

「新聞で知り、早速ひとりで、ルノアール展に行った」という彼は、実にたくましい。旅も酒も、仲間がいると楽しみは倍加するものの、調整等むずかしい面もある。

思い立った時に、山へ、海へ、展覧会に出かける「ひと

り遊び』は、生活の活性化につながるようです。

#### 「やりたかったこと」を見つけて

「第二の人生を神主として、日々神社にご奉仕中」とメッセージを寄せた彼女。縁もゆかりもない神職免許を、在職中に通信教育で取得し、天職として活躍中とのこと。

その転身の早業をいぶかしかる同窓生に、「やってみなかったから」と、生き生きとしたスピーチをしてくれたのが印象的でした。

#### もっと毎日に「遊び心」を

「食べられれば何でもおいしい」という声に、「歳をとったからこそ食にこだわら、お惣菜すべてを一挙出しますので、時には懐石風に一品ずつ順に出す贅沢も大切だ」という。

そんな彼、調理・配膳はもとより、食材探しや食器・箸置き選びまで、遊び心を發揮して、豊かな食を演出するという洒落た生活を楽しんでいるそうです。

#### 「好奇心」をエネルギーに

学生時代から鉄旅にはまっていた彼、「退職後、私鉄も含めて全国津々浦々のローカル線乗り切った」という。歳と共にしほみがちな好奇心を甦らせ、夢を追いかけることで、気持ちは格段に若返り、好奇心もどんどん広がっているようです。

今は…?

## 中山道「奈良井宿」・上田城跡「真田丸」歴史を探訪

平成28年度  
親睦旅行  
実施計画の  
ご案内

1. 期日 5月17日(火)～18日(水) (1泊2日)
2. 行先 長野
3. 費用 (お一人) 37,000円(予定) 退職互助会の宿泊利用補助券も使えます。
4. 募集 80名(先着80名とします。お早めにお申し込みください。)

参加希望者は2月26日(金)までに〒910-8544 福井市大手2-22-28 県教育センター内 県退教会宛 ハガキで申し込んでください。  
(※氏名・年齢・性別・郵便番号・住所・電話番号を記入のこと)  
参加者には後日資料を郵送します。



1	5月17日 火	福井各地＝敦賀＝寝覚の床(文化・歌人の記録に残る木曾川の景勝地昼食)＝5:30-8:00 ＝(中山道)＝奈良井宿(中山道を代表する宿場町)＝諏訪湖＝ ＝蓼科温泉(泊)大自然に囲まれた温泉と親睦を深める大宴会! 17:00ころ
2	5月18日 水	ホテル＝(霧ヶ峰)＝上田城跡大河ドラマ「真田丸」(戦国の荒波を駆け抜けた真田幸村の生涯)＝(旧軽井沢)＝小諸城吐(島崎藤村、若山牧水、高濱虚子ゆかりの地)＝福井各地(19:00-21:00ころ)

※ 交通状況や施設・機関の都合により記載時間、行程に変更が生じる場合があります。

## 楽しみながらパトロール自転車隊に参加

福井支部 田中 元彦

「安全・安心パトロール自転車隊」の一員として、地域で子どもの見守り活動をしています。これは、福井市木田小学校区内を、2人1組になって自転車で巡回しながら下校時や下校後の子どもたちを見守る活動です。市民会議の帽子、見守りの腕章、交通安全用ベストを着用し、青色回転灯を付けた専用の自転車で巡回します。

活動時間が平日の午後ということで、隊員はリタイヤして時間と体力に若干の余裕がある人たちです。子どもたちから親しみを込めて大きな声であいさっされることも多く、元気づけられています。

## 小説を書いて違った自分に

坂井支部 小原 淳子

「生きることは辛いなぁ」と、幼い頃からよく思った。それは環境が悪いというよりも、私の脳の傾向のような気がする。

8年前から、県内の女性で詩や短編小説の同人誌を作っている。そこで私が発表した小説の登場人物は、悲しみを持ちながら、自由に、あるいは呑気に暮らす。美しかったり繊細な感覚を持っていたりする。

年に一度の小説を書きながら、私は、生き生きと想像の翼を羽ばたかせ、現実と違った自分になる。

## 「いい加減」の大切さ

鯖江支部 中谷 啓子

「いい加減」とは、お風呂の湯加減が丁度いい、心地よい温度という意味です。

地域のおせっかいおばさんとしての生活のスタートと共に、「いい加減」の大切さ、難しさを感じています。近友とのお茶会、民生委員としての活動、地域活動への参画など、様々な人たちとのお付き合いを通して、楽しみながら沢山学んでいます。私のリラックスタイムは、野菜づくりと仲間と共に汗を流す太極拳です。間を大切に、あせらず、おこたらず頑張っていきます。

## 地域で楽しくハンドベル！

丹生支部 尾崎 純栄

地区の女性民生委員とそのOBが集まって、ハンドベルの練習をしています。依頼があると、お年寄りの施設や児童館、病院等へ出かけて演奏します。グループに入って2年目ですが、童謡から演歌まで40曲くらい演奏できるようになりました。

ベルの音色がとっても可愛くて、休憩タイムには、仲間とおしゃべりに花が咲き、何とも楽しいひとときです。人前で演奏する緊張感もまた新鮮!!そして、聴いてくださる方々の笑顔が素敵です。

福井の教育をよくするために

教育請願・署名を！

県教組副委員長 松井 富美子



福井県退職教職員会の皆様、日頃より県教組の活動に温かい

ご支援をいただいておりますことに感謝申し上げます。また、教育請願では毎年たくさんの方の署名を集めていただき、重ねてお礼申し上げます。

教育請願は、県教組と県退教会・連合福井・県青少年育成会・県PTA連合会・県子ども会育成連合会の6団体が連携し、1999年より毎年行っているものです。組織内議員である山本正雄県議と共に、党派や党派をこえて理解が得られるよう働きかけを行った上で、県議会議長に署名を提出し、ここ10年ほどは12月県議会にて請願項目が全て採択されています。

2003年より請願を続けてきました少人数学級は、今年度小学校4年生も対象となり、小中全年1クラス36人以下となりました。2010年の「登校支援員配置」の請願は、現在「登下校見守り隊」としてたくさんの方が子どもたちの

夢  
きら  
すばらしい

### 今が楽しい

今立支部 平野 英子

私の趣味は、草とりと花壇づくり、編物、布細工、折紙、謡曲、ゲートボール……。それが主人の病気とともに一転。通院・リハビリ体操・ウォーキングの付添いなど、保健士兼運転手の仕事で大忙し。それに病人食の為に管理栄養士なみの調理工夫も必要。

この生活に慣れて8ヶ月目、私自身の健康づくりにも役立っている。また主人の解説付きの大相撲や野球も楽しい。この頃は、一段と色冴えてきた庭の紅葉を、道行く観光客に自慢している二人である。

「老いるとは 心豊かに生きること 急がず焦らず 楽しく歩む」

### 今日の青い鳥

三方上中支部 百田 吉江

メーテルリンクの青い鳥ではないが、朝、目が覚めると今日はどんな青い鳥に会えるか期待する。トンビやカラスもいるけれど、中には青い鳥も必ずいる。

今日という日は、夜になれば蜃気楼の如く消え去ってしまう。それ故、身体を整え五感を澄まし、好奇のアンテナを掲げていたい。多種多様、大小を問わなければ、今日の青い鳥はすぐ目の前を飛ぶこともある。

因みに今日は、6ヶ月児の初々しい命、見つめる眼差しに息をのむ。

### 太陽のもとで汗したる

南条支部 網田 浩淳

退職後17年。喜寿となった今、妻と二人で野良仕事を楽しんでいる。お茶とコーヒーをバッグに入れて、いざ畑へ軽トラで出陣。草刈り、草とり、水やり、石拾い。正に自然との闘いである。日陰で腰をおろして一服。青い空を見上げて汗を拭く。

ああ、今病院のベッドで点滴を打っている人もいる。なのに、私はまだ病院へ入院したことが一度もない。二人で腰を上げてもうひとがんばり。役職を離れて解放された人生を生きていられる喜び。後30年の夢を描きながら、太陽のもとで汗を流そう。

### 里芋作りに楽しみを

小浜支部 野村 親史

里芋は、4月に植え付け、10月に収穫時期をむかえる。

第1の楽しみは約6ヶ月間の成長の様子を観ること。除草施肥、中打ち、土寄せ、脇芽かき等の世話を通して、日々成長する姿に一喜一憂する。

第2の楽しみは収穫。形良く丸々と太った里芋を収穫した時の喜びは、何物にも勝る。

第3の楽しみは、出荷時の他農家の里芋との出来比べ。良し悪しを一人で楽しめる。

第4の楽しみはセリ値。品質で3段階の値がつくが、値が良ければうれしいものだ。生きがい…。明日も掘ります。

安全のために活躍して下さっています。

予算のこともあり、請願内容がすぐに現場に反映されることは難しい面もあります。しかし、学校現場や教育関係者の願いを請願項目にあげ、継続して署名活動を行うことにより、少しずつ教育条件整備がなされてきております。

また、教育請願は学校現場が抱えている問題を、さまざまな立場の人々に知っていただく機会にもなっています。児童虐待・子どもの貧困化・アレルギー疾患や発達障害等の児童生徒数の増加。小学校の英語活動、学力・体力アップ等、社会から学校に望まれる多岐にわたる要求。そのような中、子どもたち一人ひとりに細やかな対応をするには教職員数がまだまだ不足しているという現実。激務であり、なおかつ長時間労働をせざるをえない学校現場。

先日、他の職種の方々から日々学校で奮闘している教職員に対して温かい言葉をいただきました。これも教育請願を通して学校の実情を分かっていただけだからではないかと思っております。

今後も教職員・子どもたちのために、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。



### 大沢和郎さん (大野支部)



昭和23年、初任校は農村の

富田小学校。進駐軍の視察があり便所の標識をWCと書き換えたのですが、WCは水洗トイレを意味するから却って混乱するのではと言われ、悩んだことも。田植えの農繁期に、子守をする5年生の子が行儀の悪い妹を叱ったのを、母に苛めていると誤解されても、「自分が叱られたことより(苛めているのではないかと母を心配させたことが心苦しい)と綴られたのを読んで、逞しく優しい子がいることに

感動。教師として頑張ろうとする力を得、これが長年の教員生活の心の支えとなりました。その後、内地留学や心を育てる教育研究団体に参加し、研鑽を積み、多くの刺激を受け、教科や生徒指導等、教育活動に活かしました。県国語教育研究会の授業、僻地複式教育に携わったこと、県立奥越青少年の森所長として教職を離れ、行政職に就いたのも思い出深いです。

### 〈退職してからのこと〉

民生委員・児童委員、教育委員会委員長を務めました。70代では体調を崩した時期もありましたが、現在は病を乗り越え、ふれあい公園でウォーキングを楽しみ、歩数は記録しています。歩いているとさまざまな出会いがあり、いろいろなものを観賞でき、考

えることができます。

### 〈現在の楽しみ、生き甲斐は〉

75歳からNHK学園の通信教育で、短歌、写真、遊書、エッセイなど多くの分野について学びました。今は、現職時代や日常生活の中で心に強く残ったことを冊子にまとめ、皆さんにお配りしています。感想や批評など返信を頂戴するのが何よりの喜びです。

### 〈若い人に望むこと〉

年に一回くらい、贅沢な温泉に行くといいですね。素直になって浸れば、質の高いゆとりの心ができますよ。

# お元気ですか！

年齢を重ねても、今なおいきいきと活動されている方を訪問し、長寿や豊かな生き方の秘訣についてお話を伺ってきました。

(訪問者・編集委員)

### 栗澤花子さん (福井支部)



〈今の生活は〉  
(百歳が目の前ですが) ペン習字の教室を開き、教えてい

ます。所属する書道会の審査にも毎月欠かさず出かけます。少し前まで自転車に乗ってどこへでも行っておりまして。

### 〈書の道に〉

高校の免許を取得するために、文検合格を目指して、書道の先生のもとに通い、絞られました。当時は配給制だったので、米を持って上京し、受検しました。楷書、行書、草書、仮名と4題ある席上揮毫では、全国から集まってき

た人たちがとても上手に見えました。口頭試問では「現代の書道教育についてどう思うか」「生徒にどうやって教えるか」尋ねられ、緊張し、上がってしまいました。合格してから、学校から帰宅後、毎夜2時間ほど練習し、展覧会に向けて条幅など大きな作品を出していました。今は小さい作品を書いています。

### 〈戦時中は〉

食べるのに必死な時代。草も食べ、下手な畑作りもしま

### 〈現職の頃〉

初任校は吉田郡の小学校。九頭竜川を渡し船で渡りました。福井市に転勤するのに当時は筆記試験と口頭試問がありました。小中学校で教え、退職後は高校で講師も務めました。社会に出る生徒にとって美しい文字を書くことは就職に役立ちますし、精神修養にもなっています。

### 〈元気の秘訣は〉

好き嫌いをせず、何でも食べることに。もう一つは何か趣味をもつこと。以前は刺繍も楽しみ、民謡教室に通った時もあります。今は体操をしたり歌を歌ったりして楽しんでいきます。



今までのことや今のことを綴った冊子

